



2018年10月31日

各位

株式会社ミマキエンジニアリング
 代表取締役社長 池田和明
 (コード番号: 6638 東証第一部)
 問い合わせ先 取締役管理本部長 三宅 洋
 電話番号: 0268-80-0058

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2018年5月11日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

業績予想の修正について

2019年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2018年4月1日~2018年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	26,500	950	800	650	21.64円
今回修正予想(B)	26,450	1,500	1,200	750	24.97円
増減額(B-A)	△50	550	400	100	
増減率	△0.2%	57.9%	50.0%	15.4%	
(ご参考)前期第2四半期実績(2018年3月期第2四半期)	25,174	1,119	1,004	920	30.65円

修正の理由

1. 第2四半期累計連結予想数値の修正

第2四半期累計の連結業績予想を、売上高264億50百万円(前回発表予想比0.2%減)、営業利益15億円(同57.9%増)、経常利益12億円(同50.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益7億500百万円(同15.4%増)に修正いたします。売上高は概ね計画通りを見込みますが、製品ミックスの改善に伴う売上原価率の低下と販売費及び一般管理費が計画より減少したことから、増益となる見通しであります。

2. 通期連結予想数値について

通期の連結業績予想は、当初予想から変更せずに売上高556億円(前年同期比6.0%増)、営業利益27億500百万円(同0.7%増)、経常利益24億円(同1.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益18億500百万円(同0.9%増)を見込んでおります。第2四半期累計期間までの利益水準は当初計画を上回る水準に修正しますが、足元では米中通商政策における紛争激化や米国金利政策に伴う新興国通貨への影響等、多くの懸念材料により不安定な状況が続いております。この度、通期連結予想数値を現状に留めるのはこれらの要因を考慮するためであります。特に、当第3四半期以降の為替前提につきましては、主要通貨を引き続き1米ドル=105円、1ユーロ=128円とするものの、新興国通貨(トルコリラ、ブラジルレアル等)の見通しを厳格にしております。

なお、株式交換で子会社化するアルファデザイン株式会社と株式会社楽日の2社が2019年3月期の連結業績予想に与える影響は、売上高・利益とも軽微なため、おり込んでおりません。

※上記に記載している業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上